

商店街の街灯フラッグをデザインする「六本木デザイナーズフラッグ・コンテスト」 文京学院大学 経営学部から9名が入選

～ 六本木商店街で3月下旬から約1ヵ月間掲出 ～

文京学院大学では、六本木商店街振興組合主催の「六本木デザイナーズフラッグ・コンテスト 2015」(後援:港区)に学生が応募し、経営学部から計9名が入選しました。入選作品は六本木商店街の街灯フラッグとして、2015年3月下旬から約1ヵ月間、掲出される予定です。

「六本木デザイナーズフラッグ・コンテスト」は街灯フラッグのデザインを全国から募集するコンテストで、今年で7回目を迎えます。今回は、2014年9月1日から10月31日の2ヵ月間、「昼と夜」をテーマに募集が行われました。審査委員は、六本木に縁があり、アート関連の第一線で活躍する長友啓典氏、葛西薫氏、廣村正彰氏が担当し、応募作品の中から138の入選作品が決定しました。

文京学院大学経営学部経営学科には経営学や簿記などの専門性の高い科目を学び、企業管理者や起業家を目指す人材を育成する「経営コミュニケーション専攻」と、マーケティングやCG基礎などの専門科目を学び、フィールドワークなどを通してコンテンツにかかわる知識と技能を生かして活躍できる人材を育成する「コンテンツ・マーケティング専攻」が設置されています。今回は2回目の参加となり、経営学部経営学科准教授倉嶋正彦が指導担当する「CG応用Ⅱ」と「イメージ・リテラシー研究ゼミナール」から24名の学生が出品しました。

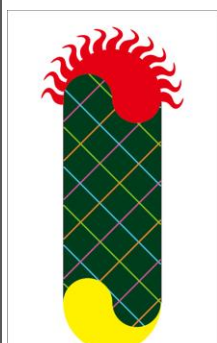
入選者9名と入選作品



坂巻琴子
(3年生/CG応用Ⅱ)



小池ありさ
(2年生/CG応用Ⅱ)



平野優星
(2年生/CG応用Ⅱ)



小幡美早季
(3年生/イメージ・リテラシー研究)



道伝郁絵
(3年生/イメージ・リテラシー研究)



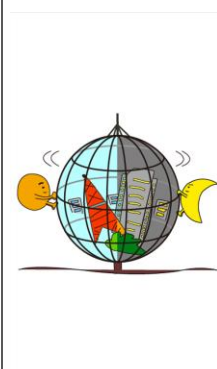
早川夢子
(3年生/イメージ・リテラシー研究)



阿部将弥
(2年生/イメージ・リテラシー研究)



大熊桃佳
(2年生/イメージ・リテラシー研究)



宮田育海
(2年生/イメージ・リテラシー研究)

<担当教員について>

倉嶋正彦(くらしま まさひこ)。経営学部経営学科准教授。東京デザイナー学院 商業デザイン科卒業後、イラストレーター、グラフィックデザイナーとして活動。1980 年初期より CG による作品を制作。TV 番組のタイトルから、イメージビジュアルまで幅広く制作している。1994 年から、CG による高精細グラフィックの可能性と、身体をテーマとした描画の CG 化作品など制作、研究。日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA) 会員、ASIFA-JAPAN (国際アニメーションフィルム協会 日本支部) 会員



<文京学院大学について>

文京学院大学は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置く総合大学です。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約 5,000 人の学生が在籍。学問に加え、留学や資格取得、インターンシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を実践しています。